

## 猛暑が続くので、飽水管理の徹底を！！ 葉色淡い場合は追加穂肥を！！

### 1 生育状況

- (1) コシヒカリの分施肥体系では葉色の回復が見られるが、一発基肥体系では依然淡い状態が続いている。
- (2) 葉色調査結果（7月30日、管内55か所平均）

品種		本年値 (SPAD 値)	目標差
コシヒカリ	分施(調査点数 26)	32.7	-0.3
	一発(調査点数 29)	30.9	-2.1
新之助	(調査点数 3)	31.1	-2.9

### 2 今後の天気（7月28日～8月27日：新潟地方気象台7月26日発表）

期間の前半は気温の高い状態が続く見込みです。

- ・気 温：低い確率10%、平年並みの確率30%、高い確率60%
- ・降 水 量：少ない確率20%、平年並みの確率40%、多い確率40%
- ・日照時間：少ない確率40%、平年並みの確率30%、多い確率30%

### 3 今後の栽培管理

#### (1) 水管理

- ア 「飽水管理」を徹底し（出穂期25日後まで）、後期栄養を維持する。
- イ 強風やフェーンが予想される場合はあらかじめ湛水し、障害の発生防止に努める。

#### (2) 「コシヒカリ」の穂肥対応（葉色淡い場合は、ただちに追肥）

- ア 一発基肥体系  
出穂期の葉色が SPAD 値 32～33 を下回ると予想される場合、ただち（遅くとも出穂期3日前まで）に窒素成分1～1.5 kg/10 a 程度を追肥する。
- イ 分施肥体系（基肥+穂肥）  
葉色が淡い場合は、出穂期3日前までに追肥を行う（7/25の情報を参照）。

#### (3) 「新之助」の穂肥対応（新之助研究会の方へ）

- ア 2回目穂肥を確実に施用する（窒素成分で1～1.5kg/10a）。
- イ 2回目穂肥施用後も出穂期の目標葉色（SPAD 値：34～36）の確保が厳しい場合は、対応を研究会へ相談してください。

高温下での新潟米品質確保に向けた電話相談窓口設置 電話番号 0250-24-9624  
8月10日まで（土・日含む）午前8時30分から午後5時15分まで